平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年11月5日

上場会社名　株式会社 ニッカトー　　上場取引所　東
コード番号　5367　URL　http://www.nikkato.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 西村　隆
問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長　(氏名) 土井　祐二　TEL 072-238-3641

四半期報告書提出予定日　平成24年11月14日　配当支払開始予定日　平成24年12月10日
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成25年3月期第2四半期の業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	4,036	—	275	—	285	—	150	—
24年3月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	12.51	—
24年3月期第2四半期	—	—

※当社は、平成24年3月期第2四半期は連結業績を開示しておりましたが、当第1四半期より非連結での業績を開示しております。そのため、平成24年3月期第2四半期の経営成績(累計)及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	11,540	8,361	72.5	692.51
24年3月期	11,038	8,261	74.8	701.61

(参考) 自己資本　25年3月期第2四半期　8,361百万円　24年3月期　8,261百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00
25年3月期	—	7.50			
25年3月期(予想)			—	6.50	14.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　有
平成25年3月期期末配当(予想)については、本日(平成24年11月5日)公表いたしました「業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 平成25年 3月期の業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,300	2.1	580	△37.0	600	△36.3	310	△33.0	25.67

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有
平成25年3月期の業績予想については、添付資料3ページ「(3)業績予想に関する定性的情報」及び本日(平成24年11月5日)公表いたしました「業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料4ページ「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項」(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	12,135,695 株	24年3月期	12,135,695 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	61,668 株	24年3月期	361,514 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	11,974,133 株	24年3月期2Q	11,924,438 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づくレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対する手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧下さい。
・当社の連結子会社でありました関東電子計測株式会社は、平成24年2月に清算手続を終結いたしており、当第1四半期会計期間より連結財務諸表非作成会社となりました。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 …… 4
（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 4
（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 4
３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要 …… 4
４．四半期財務諸表 …… 5
（１）四半期貸借対照表 …… 5
（２）四半期損益計算書 …… 7
（３）四半期キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 9
（５）セグメント情報等 …… 9
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する定性的情報

当第２四半期累計期間におけるわが国経済は、昨年発生いたしました東日本大震災からの復興の年と成るべくスタートいたしましたが、東京電力福島第１原子力発電所の事故処理を筆頭に進捗が遅れ気味で、順調とは言えない状況です。一方世界の経済は、ヨーロッパの信用不安が長期化する中での新興国を含めた景気停滞もあり、輸出も振るわず低迷状態が続きました。

このような状況のもとで、当社は今夏もございました節電協力をはじめ諸経費の削減、新商品増産への積極的な設備投資も行いました。

この結果、売上高は4,036,147千円となりました。

事業別では、特にセラミックス事業は主力客先の電子部品業界の不振をうけ2,840,384千円となりました。市場別売上高構成比率でも、前述致しました電子部品・半導体向けは52.9％と大幅に構成比率を下げ、化学・窯業・鉄鋼向け18.4％、環境・エネルギー向け3.4％となりました。

エンジニアリング事業につきましては、当四半期は大型物件があった事もあり1,195,763千円となりました。市場別売上構成比率では、電子部品・半導体向けが53.2％と半分以上を占め、次いで環境・エネルギー向け27.1％と、この２分野向けで全体の８割を超えております。

損益面につきましては、セラミックス事業の受注の落ち込みで工場の稼働率が下がったことなども影響し、営業利益は274,567千円、経常利益は285,343千円となりました。また、税引前四半期純利益はジルコニアボール製造設備の移転があったこともあり248,037千円、四半期純利益は149,804千円となりました。

当第２四半期末の配当につきましては、以上のような結果ではございますが期初予定通り7円50銭とさせていただきました。

なお、当社は前第２四半期連結累計期間では四半期連結財務諸表を作成しておりましたが、平成24年2月付で連結子会社関東電子計測株式会社の清算手続が終結したため、連結財務諸表非作成会社となりました。したがいまして前第２四半期連結累計期間との比較は行っておりません。

（２）財政状態に関する定性的情報

① 資産・負債・純資産の状況

資産は、流動資産で生産グループの一部移転準備のための製品、仕掛品等の増加により、また固定資産でも活発な設備投資を反映して有形固定資産の増加によりそれぞれ増加、合計で前期末比4.6％増の11,540,358千円となりました。

負債は買掛金や未払金等、主に流動負債で増加し前期末比14.5％増の3,178,958千円となりました。

純資産につきましては、株価下落によるその他有価証券評価差額金のマイナスが増加しましたが、これをその他剰余金の増加と自己株式売却によりカバーし、前期末比1.2％増の8,361,399千円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第２四半期累計期間末の現金及び現金同等物は1,607,198千円となりました。

当第２四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、法人税等支払額を税引前当期純利益と減価償却費でカバーし377,236千円のプラスとなりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、活発な設備投資による機械装置等の有形固定資産の取得で391,463千円のマイナスとなりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金返済と配当金の支払を長期借入金の調達と自己株式の売却で賄いました結果、105,320千円のプラスとなりました。

（３）業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、世界の経済が混迷を深める中、期初には期待をいたしておりました年度後半の景気回復は望めそうになく、最悪の場合はこの先一層の落ち込みも囁かれるに至っております。

このような厳しい状況下でございますので、誠に遺憾ながら業績の大幅な下方修正をさせていただきたく存じます。新たな目標は年間売上高83億円、営業利益5億8千万円、経常利益6億円、当期純利益3億1千万円とさせていただき、これに向かって全社をあげて努力いたす所存でございます。

詳しくは、本日（平成24年11月5日）公表いたしました「業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

（注）本資料に記載している業績予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、業績の変化等により予想数値と異なる可能性があります。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区分することが困難な会計方針の変更）

当社は、法人税法の改正に伴い、当第１四半期会計期間より平成24年4月1日以降に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

４．四半期財務諸表
（１）四半期貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期会計期間 （平成24年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,505,524	1,596,607
受取手形及び売掛金	2,764,307	2,864,133
有価証券	30,581	30,591
商品及び製品	512,664	595,997
仕掛品	835,784	922,120
原材料及び貯蔵品	267,944	288,425
その他	140,583	135,049
貸倒引当金	△6,900	△6,000
流動資産合計	6,050,489	6,426,924
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,601,778	1,728,401
機械及び装置（純額）	1,285,326	1,517,324
その他（純額）	791,930	678,094
有形固定資産合計	3,679,035	3,923,819
無形固定資産	32,870	29,078
投資その他の資産	1,275,222	1,160,535
固定資産合計	4,987,128	5,113,433
資産合計	11,037,618	11,540,358
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	969,271	1,221,607
短期借入金	400,000	400,000
1年内返済予定の長期借入金	250,808	284,136
未払金	255,431	398,962
未払法人税等	106,304	99,141
賞与引当金	212,000	200,000
役員賞与引当金	23,430	11,715
その他	31,717	15,212
流動負債合計	2,248,963	2,630,775
固定負債		
長期借入金	272,288	288,544
退職給付引当金	36,910	58,331
役員退職慰労引当金	113,615	96,067
資産除去債務	36,780	37,092
その他	68,147	68,147
固定負債合計	527,740	548,183
負債合計	2,776,703	3,178,958

（単位：千円）

	前事業年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期会計期間 （平成24年９月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,320,740	1,320,740
資本剰余金	1,221,859	1,225,438
利益剰余金	6,010,342	6,077,727
自己株式	△162,346	△27,698
株主資本合計	8,390,595	8,596,207
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△129,680	△234,807
評価・換算差額等合計	△129,680	△234,807
純資産合計	8,260,914	8,361,399
負債純資産合計	11,037,618	11,540,358

（２）四半期損益計算書
第２四半期累計期間

（単位：千円）

	当第２四半期累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年９月30日）
売上高	4,036,147
売上原価	3,164,574
売上総利益	871,573
販売費及び一般管理費	597,005
営業利益	274,567
営業外収益	
受取利息	1,452
受取配当金	14,381
その他	8,347
営業外収益合計	24,181
営業外費用	
支払利息	6,508
その他	6,896
営業外費用合計	13,404
経常利益	285,343
特別損失	
設備移転費用	21,727
固定資産廃棄損	11,487
投資有価証券評価損	4,092
特別損失合計	37,306
税引前四半期純利益	248,037
法人税、住民税及び事業税	96,000
法人税等調整額	2,232
法人税等合計	98,232
四半期純利益	149,804

（３）四半期キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	当第２四半期累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	248,037
減価償却費	288,050
貸倒引当金の増減額（△は減少）	270
受取利息及び受取配当金	△15,833
支払利息	6,508
退職給付引当金の増減額（△は減少）	21,421
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	△17,547
貸倒損失	△1,170
固定資産廃棄損	11,487
投資有価証券評価損益（△は益）	4,092
売上債権の増減額（△は増加）	△99,825
たな卸資産の増減額（△は増加）	△190,149
その他の資産の増減額（△は増加）	△12,329
仕入債務の増減額（△は減少）	252,336
未払消費税等の増減額（△は減少）	14,150
その他の負債の増減額（△は減少）	△30,119
小計	479,378
利息及び配当金の受取額	15,598
利息の支払額	△6,590
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	△111,149
営業活動によるキャッシュ・フロー	377,236
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△384,842
無形固定資産の取得による支出	△13,815
投資有価証券の取得による支出	△401
貸付金の回収による収入	1,027
投資その他の資産の増減額（△は増加）	6,568
投資活動によるキャッシュ・フロー	△391,463
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入れによる収入	200,000
長期借入金の返済による支出	△150,416
自己株式の取得による支出	△73
自己株式の売却による収入	138,300
配当金の支払額	△82,490
財務活動によるキャッシュ・フロー	105,320
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	91,093
現金及び現金同等物の期首残高	1,516,105
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,607,198

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報等

当第２四半期累計期間（自　平成24年4月1日　至　平成24年9月30日）

報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			合計
	セラミックス事業	エンジニアリング事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	2,840,384	1,195,763	4,036,147	4,036,147
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	―
計	2,840,384	1,195,763	4,036,147	4,036,147
セグメント利益	249,729	24,837	274,567	274,567

（注）当社は、当第１四半期累計期間から四半期財務諸表作成会社となったため、前第２四半期累計期間のセグメント情報等の注記は記載しておりません。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。